

David & Goliath

ダビデとゴリアテ

大きいネズミはゴリアテみたい。強いけど、どんくさい。小さいネズミは弱いけど、ダビデみたいに頭が回る。

ラウンドごとに、プレイヤーはみんなカードを1枚出します。いちばん小さいカードを出した人が、いちばん大きいカードを先に1枚取ります。そのあとで、いちばん大きいカードを出した人が、のこりのカードをぜんぶ取ります。ゲームが終わったら、自分が取ったカードを色ごとに分けます。2枚以下しか取っていない色については、すばらしい、カードの数字がそのまま点になります。3枚以上ある色は、数字がなんであれ、1枚につき1点にしかありません。

これを何回かやって、合計点がいちばん大きい人の勝ちです。

プレイ人数：3～6人
プレイ時間：20～40分
対象年齢：8歳以上



販売元
合同会社ニューゲームズオーダー
〒190-0023
東京都立川市柴崎町 3-10-6 イチカワビル 2F
<http://newgamesorder.com/>

あらまし

大きいネズミはゴリアテみたい。強いけど、どんくさい。小さいネズミは弱いけど、ダビデみたいに頭が回る。

ラウンドごとに、プレイヤーはみんなカードを1枚出します。いちばん小さいカードを出した人が、いちばん大きいカードを先に1枚取ります。そのあとで、いちばん大きいカードを出した人が、のこりのカードをぜんぶ取ります。

ゲームが終わったら、自分が取ったカードを色ごとに分けます。2枚までしか取っていない色については、すばらしい、カードの数字がそのまま点になります。3枚以上ある色は、数字がなんであれ、1枚につき1点にしかありません。

これを何回かやって、合計点がいちばん大きい人の勝ちです。

入っているもの

- カード 90枚 (5色それぞれ1から18まで1枚ずつ)
- 予備のカード 12枚

※点をつけるための筆記具を用意してください (箱には入っていません)

準備

ゲームする人数によって、使うカードがちがいます。
3人のとき：5色それぞれ1から9まで (45枚)
4人のとき：5色それぞれ1から12まで (60枚)
5人のとき：5色それぞれ1から15まで (75枚)
6人のとき：5色それぞれ1から18まで (90枚)
使わないカードはどけておいてください。

※もしカードをなくしたら、予備のカードが何枚か入っていますので、これに数字を書きこんで、かわりに使ってください。

いちばん大きいプレイヤーが、使うカードをぜんぶ取り、これをよく切って、みんなに15枚ずつ伏せて配ります。配られたカードは、ほかの人に见せないように持ってください。カードを配った人のすぐ左にいるプレイヤーが、最初のゲームの最初のラウンドで「リーダー」になります。

ゲームの流れ

ゲームは人数と同じ回数だけ行きます (時間がなければ、もっと少ない回数にしてもかまいません)。1ゲームは15ラウンドです。ラウンドごとに、みんなカードを1枚ずつ出します。

毎回のラウンドでは、まず「リーダー」が、自分が手に持っているカードから好きなものを1枚出し、テーブルの上、自分の前に置きます。どの色、どの数字のカードかみんなにわかるように置いてください。つづいて、ほかの人も時計回りに、カードを1枚ずつ自分の前に出していきます。このとき、リーダーと同じ色のカードを持っている人は、かならずリーダーと同じ色のカードを出さなければいけません。持っていないなら、どの色のカードを出してもかまいません。

※どの色・どの数字のカードをだれが出したか、みんなに「はっきりと」分かるようにしてください。

みんながカードを1枚ずつ出したら、まず、だれのカードがいちばん大きいかチェックします。つぎに、だれのカードがいちばん小さいかチェックします。

いちばん大きいカードをチェックするときは、カードの色は関係ありません。二人以上が同じ数字でいちばん大きいカードを出しているときは、後で出したほうがより大きいカードだということになります。

いちばん小さいカードをチェックするときも、カードの色は関係ありません。二人以上が同じ数字でいちばん小さいカードを出しているときは、後で出したほうがより小さいカードだということになります。

※ぐくまれに、みんな同じ数字のカードを出しているということがあります。このときは、最後に出されたカードがいちばん大きいカード、最後から2番目に出されたカードがいちばん小さいカード、ということにします。

いちばん小さいカードを出した人が、このラウンドで出たカードのうちいちばん大きいカードを先に1枚取ります。そのあとで、いちばん大きいカードを出した人が、このラウンドで出た、のこりのカードをぜんぶ取ります。取ったカードは、それがどの色・どの数字のカードかみんなに分かるように、自分の手元に並べておきます。

これでラウンドは終わりです。いちばん大きいカードを出した人が、次のラウンドの「リーダー」になります。

5人ゲームの例



アンドレアスがリーダーで、緑の4を出しました。このため、ほかの人も出せるなら緑を出さなければいけません。ベンが緑の

12、つづいてクララは緑の7を出します。デニスとエマは緑のカードを持っていないので赤の2を出し、最後にエマが緑の2を出します。



ベンのカードが12でいちばん大きいカードです。いちばん小さい数字は2です。2はデニスとエマのふたりが出していますが、エマのほうが後の番なので、エマのカードがいちばん小さいカードということになります。ということで、エマはいちばん大きいカード、ベンの緑の12を取って、自分の手元に置きます。ほかの4枚はベンのものとなり、ベンの手元に並びます。ベンが次のラウンドのリーダーとなり、最初のカードを出します。

これを15ラウンド、みんながカードを使い切るまで行きます。カードを取るたびに、色ごとに分けて手元に並べ、手元にあるどのカードも数字・色がみんなに見えるようにしてください。

ゲームの終わり

15ラウンド終わったら、それぞれ取ったカードの点を数えます。取ったカードを色ごとに分け、色ごとに点を数えます。各色につき、

その色のカードを2枚までしか取っていないなら、取ったカード1枚ごとに、そのカードに書かれている数字をそのまま点として受け取ります。

その色のカードを3枚以上取っているなら、取ったカード1枚につき1点だけ受け取ります。

※1枚も取れなかった色については、1点も入りません。

5色分の点をすべて合計したものが、このゲームでの自分の点数になります。

点数の例

下の図にあるのが、デニスがこのゲームで取ったカードです。



赤：4 / 10 / 11 = 3点
黄：8 = 8点
緑：5 / 9 = 14点
青：2 / 3 / 6 / 10 / 12 = 5点
紫：10 / 12 = 22点
ということで、このゲームでのデニスの得点は52点です。

それぞれのプレイヤーの得点を書きとめてから、次のゲームに移ります。カードを配る人は、ゲームごとに時計回りで交代していきます。全ゲームあわせて合計点がいちばん大きいプレイヤーの勝ちです。

奥付

作：Reinhard Staupe (www.staupe.com)
絵：Oliver Freudenreich
意匠：Oliver Freudenreich, Hans-Georg Schneider, Rita Geers
開発：Thygra Spiele-Agentur (www.thygra.de)



販売元
合同会社ニューゲームズオーダー
〒190-0023
東京都立川市柴崎町 3-10-6 イチカワビル 2F
<http://www.newgamesorder.com/>